

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自転車を活用したまちづくり推進事業
事業主体 (連絡先)	安曇野市役所政策部政策経営課 安曇野市豊科 6000 番地
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト、ハード
総事業費	3,221,506 円 (うち支援金: 2,418,000 円)

#### 事業内容

令和元年度から本格的に自転車を活用したまちづくりの取り組みをはじめ、様々な事業を実施してきました。今年度はそれらの取り組みをより発展させた事業を行い、自転車を活用する市民の増加に繋がりました。

- ・自転車での健康づくり実証実験：4月～11月
- ・マウンテンバイク親子教室：計4回
- ・市内高校や民間事業者と連携した交通安全啓発



【マウンテンバイク親子教室】

#### 【目標・ねらい】

- ① 自転車を利用する市民の増加
- ② 自転車に関係する交通事故件数の減

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

実証実験教室やマウンテンバイク親子教室の開催により市民の皆さんが自転車に乗る機会が増えました。

また、広報等で自転車による健康効果を目にすることで、自転車への興味関心が高まり利用者が増加しました。

サイクリススポーツの普及、それによる関係産業の振興など地域の活性化を図るため、マウンテンバイクコースを設置しました。

※自己評価 **【B】**

**【理由】**

- ・自転車を利用する市民  
本年度4月対11月比 15%増
- ・マウンテンバイクコースの設置  
令和4年4月から供用開始

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・サイクリングコースやマウンテンバイクコースを活用した事業を行うことにより、市民等へ自転車の楽しさをPRし自転車を活用する人を増やします。
- ・交通安全啓発については、引き続き高校生や民間事業者との連携により安全利用を呼び掛けていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある